

市民フォト

No.5

●昭和56年6月1日発行

五月晴れの空に エンジンの音  
も高らかに。急上昇、宙返りと無線  
で自在に空かけるラジコン飛行機。  
家中で広場に憩う模型飛行機づくりも、また楽し。(人物はミス鹿児島  
堂園 孝美さんと和田町の増田富高  
さんご一家)

# 鹿児島



# 私の作品



## もくじ

私の作品 ..... 2

特集・みなと鹿児島ミニガイド ..... 3~5

みなと鹿児島ミニガイド ..... 6~7

鹿児島港小史 ..... 8~9

人物登場(益山知子さん) ..... 10~11

ぼくらの施設めぐり(平川動物公園) ..... 12~15

飛んで20年(新屋敷町) ..... 16~17

市民のひろば ..... 18~20

奥様こんにちは(山田みほ子さん) ..... 21

あなたのフォトサロン ..... 22~23

梅ヶ瀬観音 ..... 24~25

蛇皮線クラブ ..... 26~27

わたしの散歩道(天文館通り) ..... 28~29

カメラトピックス ..... 30

あの店この店(金魚の松井) ..... 31

市立美術館(裸体習作) ..... 32

## 「お話の絵」

武岡小学校二年 川畑和丈

この絵は、「お日さまへのねがい」というお話の絵です。

村の人たちが、雨で、こまつているところです。お日さまは、雲でかくれて、毎日毎日、大雨がザ

イザーふって、食べものはないし、せんたくものもかわきません。「お日さま、でてきてください」といつて

いるところです。黒い雲やたきのようふる雨、ピカピカゴロゴロのかみなりさんもかいてみました。



# みなと鹿児島

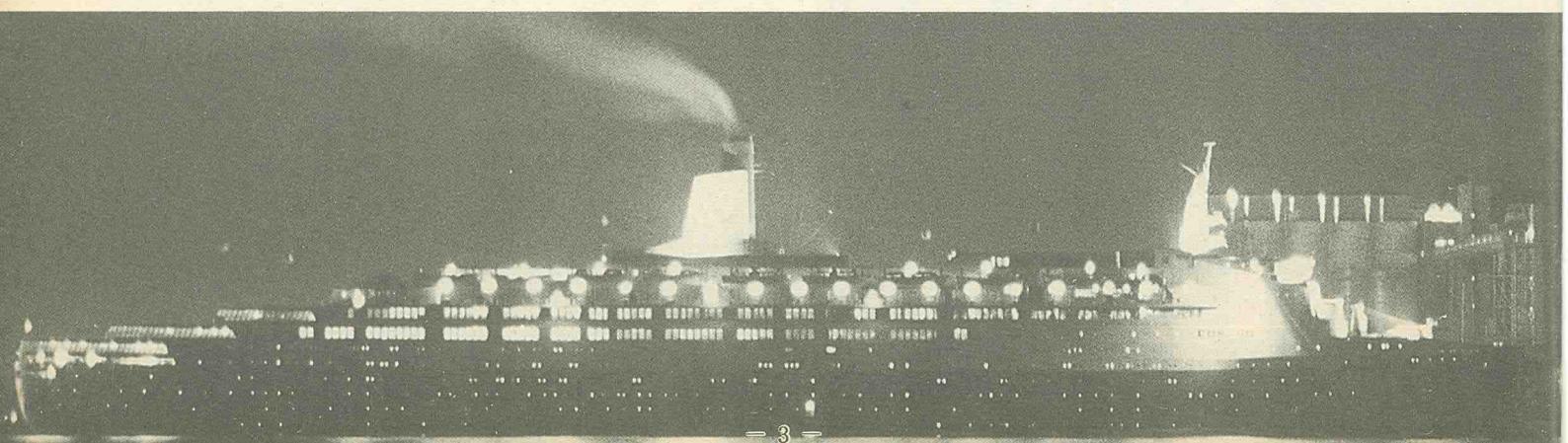
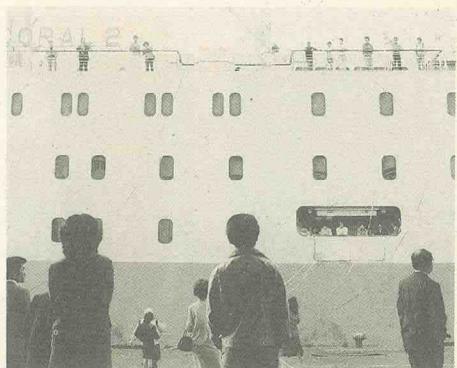
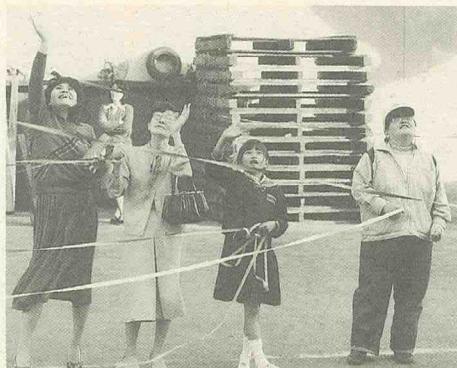
「さようなら」、声をはりあげて別れを告げる子どもたち、目頭を押えて、じつと見送る年老いた婦人、みんなの思いをのせてティプが舞い、汽笛を鳴らして岸壁を船が離れる。港の別れには、なぜかしら胸にジーンとくるものがあります。最近は、こうした別れの光景をあまり見かけなくなつたといわれますが、きょうも岸壁では様々な別れが繰り広げられています。

交通、経済、流通と、市民生活にも深いかかわりをもつ港。今回は「みなと鹿児島」について特集してみました。

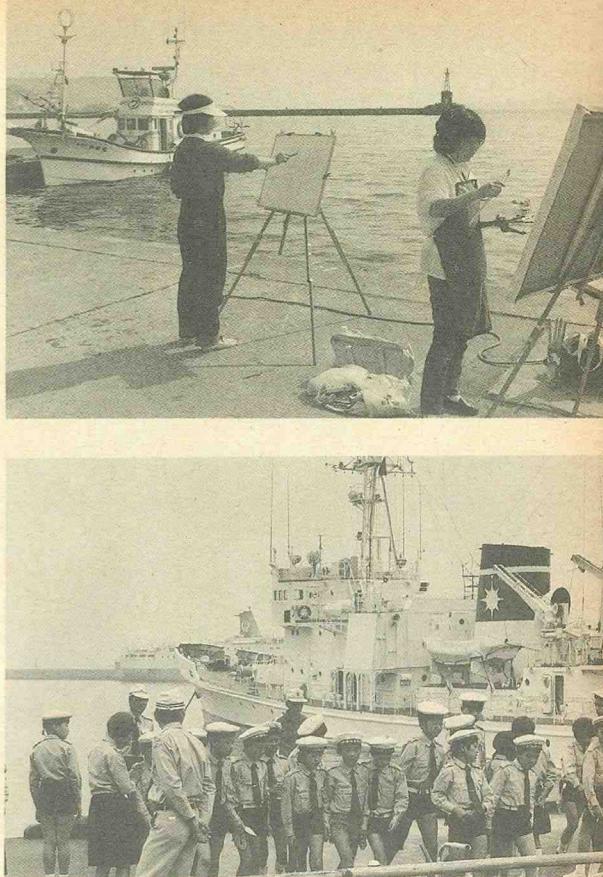
離島航路の母港、工業港、商業港、観光港——等々、鹿児島港は様々な顔をもつています。

港の一日は午前二時、魚類市場へ魚を運ぶ漁船の軽快なエンジンの響きで始まります。しかし、まだ港全体は静かな眠りの中です。東の空がしらむ午前五時三十分、桜島フェリーが運行を開始。港はまだ人影がまばらで、体操やジョギングをする人々もちろん、人々の呼吸が感じられます。そして、

午前八時、本港から種子屋久航路



の船が出港し、新港に沖縄・奄美航路の船が入港してくる頃になるといつもの活気を取り戻します。接岸中の貨物船では、クレーンが大きな荷をつりあげ、フォークリフトやトラックがせわしげに動き回ります。ぼんやりしていると、どこから罵声がとんでもくるか、わからない雰囲気です。



一日平均、百五十隻の船が出入りする南の海の玄関口「鹿児島港」——石油や木材、それに自動車などは、この港を経て運ばれてきます。また、港は桜島や大隅半島の人々にとって通勤、通学のための交通ターミナルであり、離島出

いの関心は高いとはいえないよう。いま、総合旅客ターミナルを中心とした、市民に親しまれる港づくりの計画が検討中といわれます。

このように、わたしたちの暮らしどと密接なつながりをもつている鹿児島港ではありますが、港についての関心は高いとはいえないよう。いま、総合旅客ターミナルを中心とした、市民に親しまれる港づくりの計画が検討中といわれます。

わたしたちにとって“みなど鹿児島”とは……。

四方を海に囲まれたわが国には

船だまりや船着場を含めて、約五千の港があるといわれます。その大半は漁港ですが、千八十五港（昭和五十三年現在）が港湾法の適用を受ける指定港です。そして、これら約千の港は国民経済からみてその重要性に応じて三つに分けられています。まず一つは外国貿易の増進上特に重要な「特定重要港湾」で、神戸や横浜など十七港あります。いま一つは国の利害に重大な関係をもつ「重要港湾」で、百九港あり、鹿児島港もその一つです。そして、重要港湾以外が「地方港湾」で九百五十九港あります。

鹿児島港を貨物の取扱量からみてみると、全国で二十三番目、九州では北九州、喜入、大分に次いで四番目の港で、南北二十キロ、八つの港区からなっています。それを北から紹介しますと、

○本港区：桜島フェリー、種子屋久航路および三島十島航路の発着拠点港。

○新港区：奄美大島および沖縄方面への定期貨客船の基地港。

○鴨池港区：大隅半島との海上交通の拠点港。

○南港区：砂、砂利、くず鉄などの建設資材および石油の専門港。



- ①稻荷川河口は天文18年(1549年)、フランシスコ・ザビエルが日本布教のため、第一歩を印したところ。  
 ②島津光久(第19代)の時代、今の春日神社のあたりに御船手(船をつなぐ役所)が建てられていた。  
 ③肥後の石工・岩永三五郎がつくったといわれる。約200年前の波止場のなごり。  
 ④1850年頃に築かれた防波堤で、明治になって一丁台場と連結された。北側には当時の丈夫な石組みが残っている。  
 ⑤海運局、海上保安部、検疫所、入管事務所、県港湾事務所等の港関係の役所が入居している建物。

# 鹿児島港小史

## 今に残る三五郎波止場

古くから港は町とともに発展し

てきました。鹿児島港の歴史もさ

かのぼると、今から約六百年前に

島津氏が多賀山の東福寺城に居を

構えた「鹿児島城下の誕生」に始ま

るといわれます。もちろん、当時

はまだ草木繁茂する海岸にすぎず、

港が体裁を整えるに至ったのは江

戸時代になってからのことです。

特に、文政年間（百五十年ほど前）

には住吉町から築町にかけて大規

模な築港工事が行われ、現在の本

港区の基礎がつくられています。

この頃に相前後してできたのが現

在も残る三五郎波止場や新波止場

で、当時の薩摩藩の土木技術がい

かにすばらしいかをうかがわせま

す。

藩をあげて、このような大事業

に踏み切った理由は、財政建て直

し策として砂糖貿易を進めるため

で、築港と同時に、住吉町に産糖

方という役所を設けています。ま

た、港のはずれ大門口には砲台も

復員船の入港で、一時活況を取り

戻したのもつかの間。相次ぐ台風

の襲来が続く中、昭和二十六年の

ルース台風は、新防波堤や臨港施

設をメチャクチャにしてしまい、

港内では避難中の船十五隻が沈没。

百六十隻がこわれるというさま

じさでした。

また、戦後、南西諸島が米軍の

施政下におかれてしまつたため、

離島航路がとざされ、かつての海

外航路の基地「みなと鹿児島」は密

りまでを御着屋通りと呼んでい

ます。このあたりは、かつて鹿児

島港から堀が通じ、大阪や江戸に

通う船の発着所があったことから

この名が生まれたといわれます。

【御着屋】 天文館通りの北東部  
御着屋派出所のあるあたりを御着屋と呼び、西本願寺の東郵便局側の角から天文館通りと交差するところまでを御着屋通りと呼んでいます。このあたりは、かつて鹿児島港から堀が通じ、大阪や江戸に通う船の発着所があったことからこの名が生まれたといわれます。

【いづろ通り】 天文館電停から

設けられ、藩政時代の鹿児島港は貿易港であるとともに、軍港でもあつたわけです。

明治に入つてからの鹿児島港は

海運業の発展に伴つて、港には米問屋や肥料問屋、黒糖問屋が軒を並べ、物産の集荷地、鹿児島の経済の中心地として一大飛躍をとげました。

ものの、まだ陸路は未発達。貨客輸送の中心は船にたよつていまし

た。大正期に入つて、中国大陸をはじめ、外国との取引きが急増。

大正八年には、待望久しい開港場

となりました。この頃、離島航路

や阪神航路などの定期航路がひら

け、大正末には、不定期ながらも貨物船の大連乗り入れが実現し、

さらには下つて昭和九年には、鹿児

島—長崎—大連航路が開設され、

二千七百トンの豪華船「千歳丸」の就

航をみるなど、この時期が鹿児島

港の最も華やかなりし頃と言える

ようです。

開港当時、鹿児島港には三十三組、八百人ほどの仲仕たちがいました。当時は、ふんどし一本、ハダカ同然の姿が一般的な仲仕スタッフで、いずれも強力揃い、一人

イルで、いざれも強力揃い、一人で米俵を二つ（百二十キロ）もかつぎ、

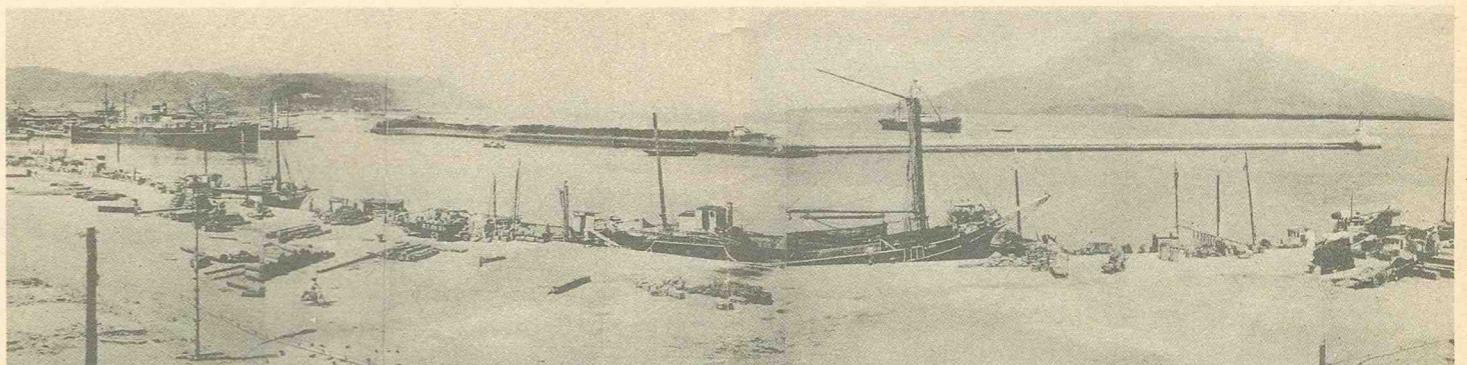
船から船に運ぶのはザラだったよ

うです。

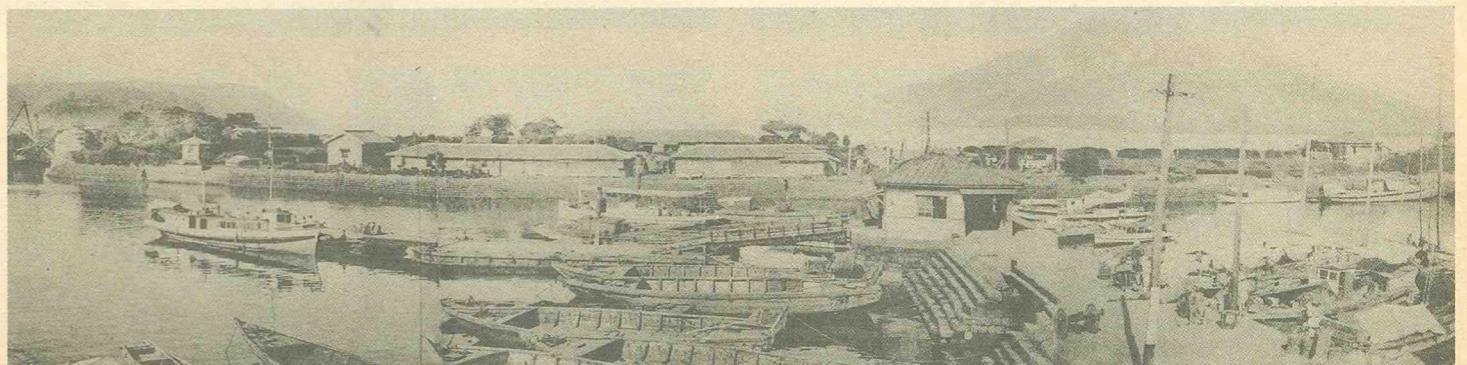
狭かつた港も、大正十二年から昭和九年までに二百九十万円を投入して改修され、千トント級の船が横

づけできるようになり、港の水域も従来の一倍近くに広がりました。

しかし、昭和初期、発展の一途をたどつた鹿児島港も第二次世界大戦の痛手は大きく、終戦直後は火の消えたような静けさでした。



昭和9年7月25日撮影



大正15年9月17日撮影



昭和26年・ルース台風で大被害を受けた

# 人物登場

澄んだ琴の音。十三本の弦を自在につまびく益山さんの表情に「無心」という言葉を思い出す。

突然の失明を克服し、琴の道を歩む日々。今年は国際障害者年——テーマは“完全参加と平等”。

仲間たちと琴コンサートを開いた益山さんは、完全参加を目指してがんばる。

●生田流筑紫会大師範  
ます やま とも こ

益山 知子

鹿児島市加治屋町三の二、加治屋ハイツ二〇号の自宅に会社役員の父・和雄さん(五〇)、母・圭子さん(五〇)と一緒に師事、歌弥詠の名で知られる。鹿

鹿児島市の甲東中卒業後、琴一筋第一人の四人暮らし。二十六歳。

益山さんは今年一月、同年輩の若い女性五人で作った琴の演奏グループ「ひびき」のコンサートで、

「どつても、あがりました。でも、

私たちのために、こんなにたくさ

んの人たちが聴きに来てくれたか

と思うと、うれしくて……」。

益山さんは、生まれながらの盲

目ではなかつた。中学三年の春、

家でふざけていて柱で右目を強く

打ち、一ヵ月後に失明した。

琴を始めて十年前後の女性たち

が毎週一回、一年間の練習を積み

重ねた成果を問うたのだが、曲の

新鮮さと盲目というハンディに負

けず、琴に打ち込んでいる益山さ

んの姿が共感を呼び、会場の県医

師会館は立見席まで出る盛況。

「どうしてもできない技術があつ

たんです。それが、ある日突然で

きるようになつた。みんな、自分

のことのように喜んでくれたんで

す」。

益山さんは、生まれながらの盲

目ではなかつた。中学三年の春、

生活のあれこれを話し、慰めてく

れた。

ちようど一年経つたころ「暇つぶ

しにでも」と琴の練習を勧めてくれ

たのが、隣りに住んでいた生田流

筑紫会の浜田歌弥音さん。最初は

軽い気持で始めた琴だったが、入

り込んでみるとつらい訓練。テー

ブで音を入れ、指で一つ一つ

音を見つけていった。それは、益

山さん自身にとつて「自分との闘い

だつたが、まもなく「琴の素晴しさ」

に行きついた。

あれから十一年。十年で師範免

許を得た益山さんは、今、自宅と

伊集院町で五歳の女の子から社会

人まで十数人に教える立場。

「バス停までお弟子さんが迎えに

来てくれるんです。子どもたちも

“先生、いいことをすれば見えるよ

になるよ”って励ましてくれる。教

えるというより、いろんな人に会

つて教えられることが多いです」。

コロコロコロ、と明るく笑う益

山さん。彼女には、ある日突然襲

つて来た運命のイタズラに負けな

い、強さを感じられた。



撮影／三井 五男

山さん自身にとつて「自分との闘い」だつたが、まもなく「琴の素晴しさ」に行きついた。

あれから十一年。十年で師範免許を得た益山さんは、今、自宅と伊集院町で五歳の女の子から社会人まで十数人に教える立場。

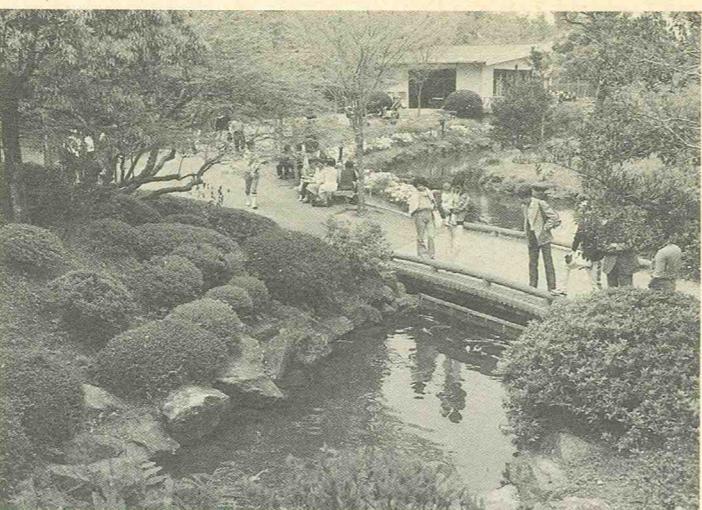
「バス停までお弟子さんが迎えに来てくれるんです。子どもたちも“先生、いいことをすれば見えるよになるよ”って励ましてくれる。教えるというより、いろんな人に会つて教えられることが多いです」。

コロコロコロ、と明るく笑う益山さん。彼女には、ある日突然襲つて来た運命のイタズラに負けない、強さを感じられた。

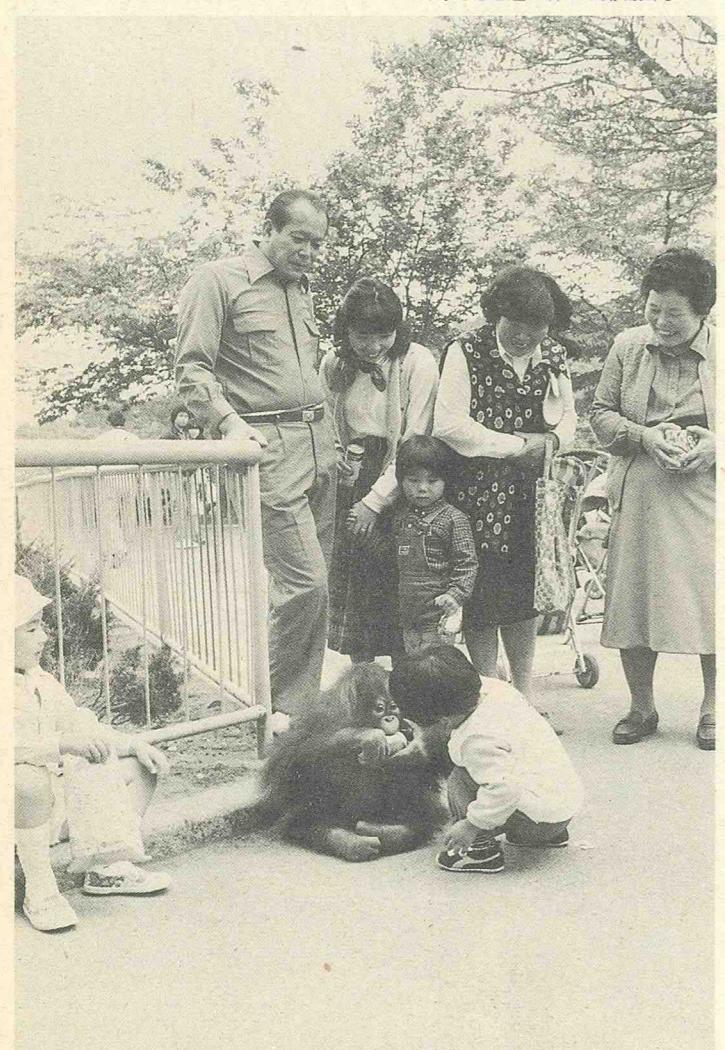
文／太田 正隆  
毎日新聞社記者



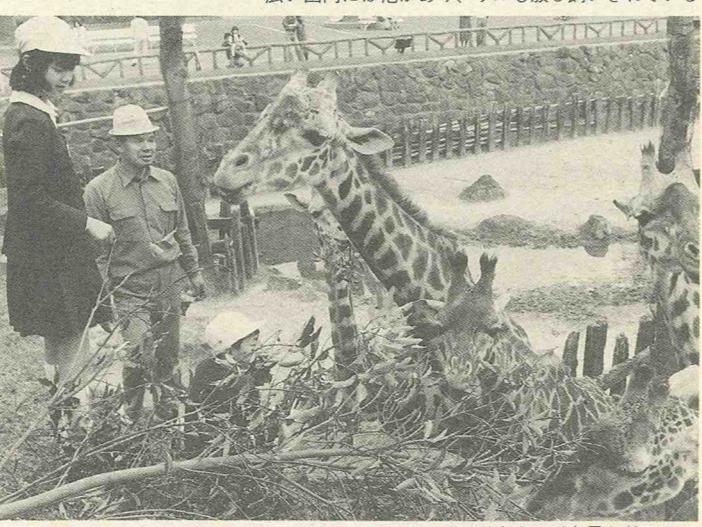
やぎやうさぎと遊ぶ仲よし動物園も……



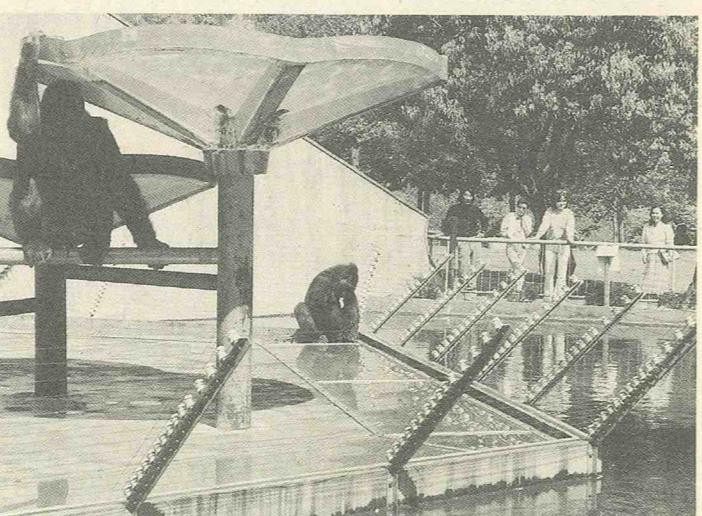
広い園内には池があり、サルも放し飼いされている



公平君ももうすぐ2歳、動物園の人気者に……



キリンにえさを与える川床君と前田さん



ユーモラスなしぐさにふと笑いが……

アフリカ園では、キリンにえさをやりました。キリンは三十七センチもありそうな長い舌で、くるつとまいてバリバリ食べます。やはり、お父さんキリンが一番大きく、えらいのでたくさん食べて、他のキリンはそんりょして小さくなつて食べていました。

動物園にはよく来ますが、あらためてみると、知らないこともたくさんあるなあと思いました。

私たちには近くにいるのだから、どんどん利用し、動物のことなら何でも知っている、と言えるくらい動物に興味を持つうと思いまし

鳥の卵が入れてありました。ダチヨウの卵は、にわとりの卵の三倍もありますが、立ったまま卵をうむというのにはびっくりしました。それから、世界中でここにしかいないアマミノクロウサギを見せてもらいました。このうさぎは、ふつうのうさぎよりひとまわり小さく、耳と後あしが短く、毛はあらく、黒かつ色の夜行性のうさぎです。動物園では、その生態を毎日観察しているそうです。早くその性質を知ることができたらなあとthoughtでした。

## ぼくらの施設めぐり 平川動物公園

文／川床 文隆・前田 まゆみ



動物公園からは桜島もながめられます

最初に行つたのは卵をふ化させる所です。ふ卵器は二台あって、一方にはダチヨウ、一方には他の私たちは動物園に行き、園長さんや酒匂さんの話しを聞きながら見えてまわりました。

アフリカ園では、キリンにえさをやりました。キリンは三十七センチもありそうな長い舌で、くるつとまいてバリバリ食べます。やはり、お父さんキリンが一番大きく、えらいのでたくさん食べて、他のキリンはそんりょして小さくなつて食べていました。

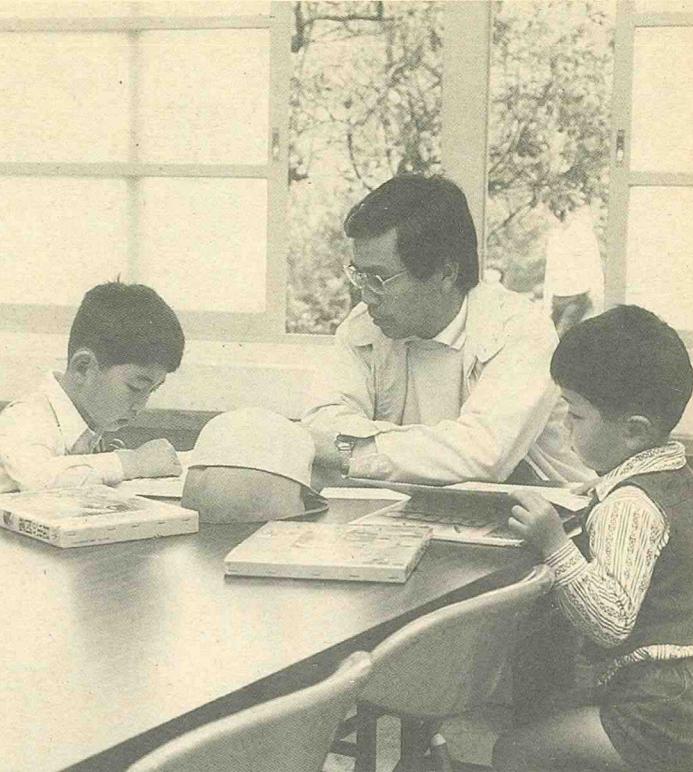
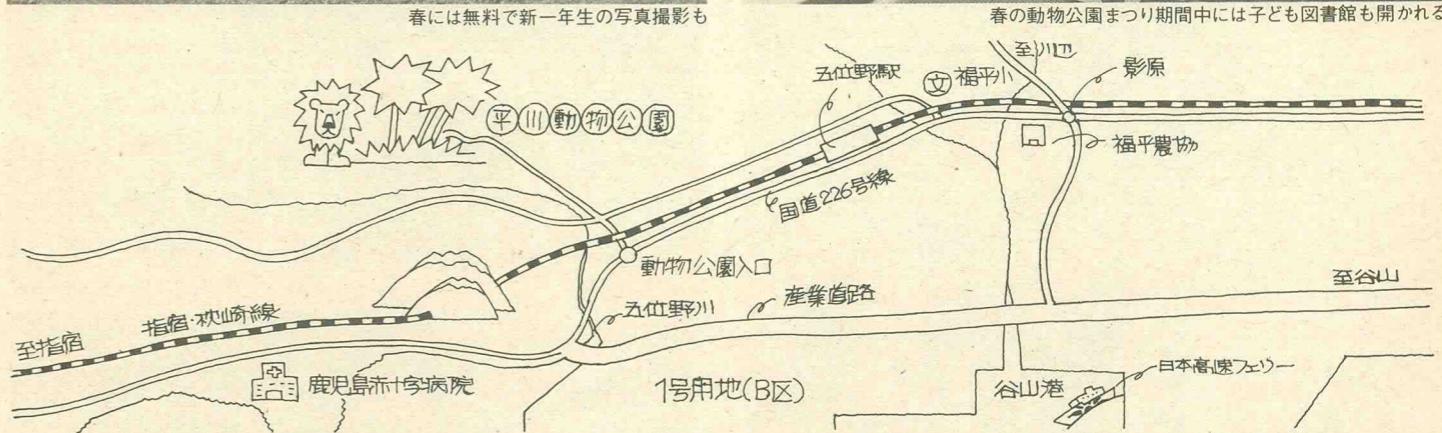
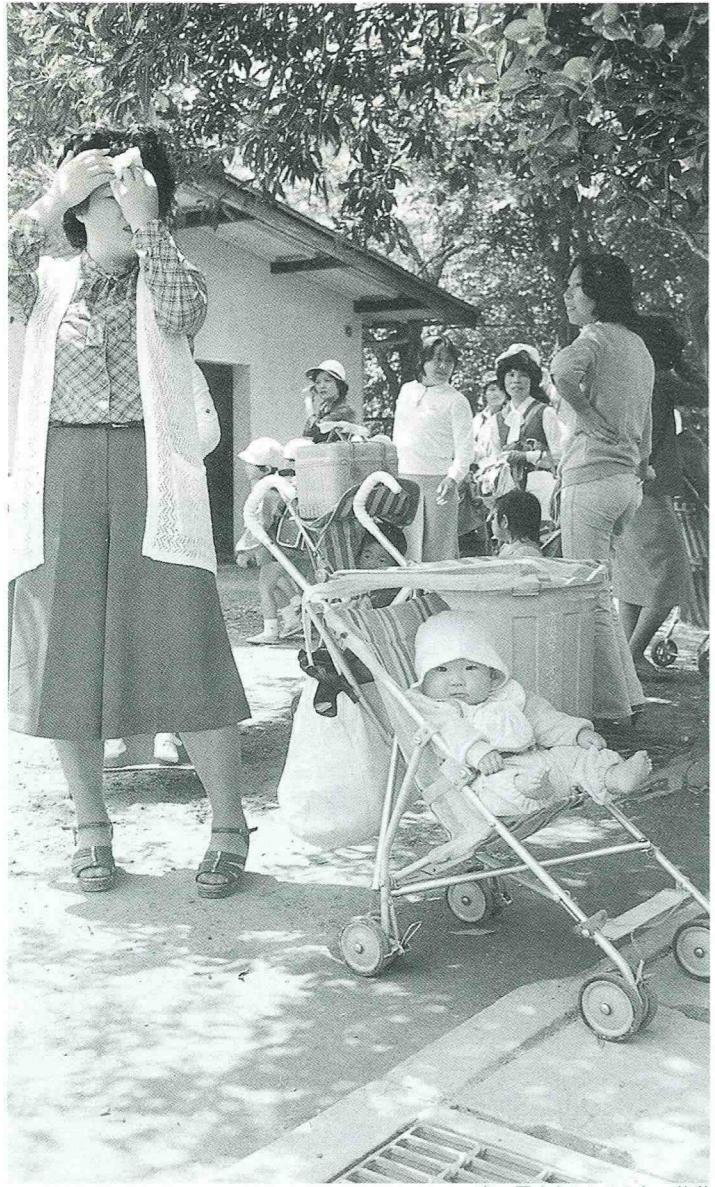
動物園にはよく来ますが、あらためてみると、知らないこともたくさんあるなあと思いました。

私たちには近くにいるのだから、どんどん利用し、動物のことなら何でも知っている、と言えるくらい動物に興味を持つうと思いまし



米山園長から説明を受ける川床君と前田さん

平川に移つて九年、鴨池の時代から数えると六十五周年を迎える動物園、休日ともなると家族連れで大変なにぎわいをみせています。ここには、百六十三種、九百六十一点の動物が飼育されており、飼育頭数、施設の両面でも、全国でも有数の施設となっています。その動物園を、福平小六年川床文隆君と前田まゆみさんにお訪ねてもらいました。



昭和36年

# 飛んで20年

昭和56年

## 空から見た街の表情



新屋敷町

古い写真は、いろいろなことを語りかけてくれます。

今は電車通りのロータリー、木造の市立病院、公社ビルのところに市の中央保健所、警察署は市内に一つだけの頃で、木造二階建。その頃のニューフェイスは南日本放送の白い建物。

あれから、戦災復興事業で生まれた大通りはツツジも鮮やかなパース通りに、パラボラ塔の電電公社が出現、天文館公園はビルの中。二十年後、あなたの街は、あなたご自身はどのように……。



撮影／水谷 進

## 明日の市政を語る

「日本の南の起点 風格と活力ある市民都市」——このほど制定された「鹿児島市基本構想」は、鹿児島市がめざす将来の都市像をこのように位置づけました。

市民アイデア募集、市民意識調査など、数多くの市民の皆さんから貴重なご意見やご提言をいただきましたが、総合計画審議会の委員を務められた上村教授、脇さんと山之口市長が策定の苦心談を語ります。

### 出席者(敬称略)

鹿児島大学法文学部教授  
**上村 剛一**  
鹿児島青年会議所理事長  
**脇 康秀**  
鹿児島市長  
**高島 康子**



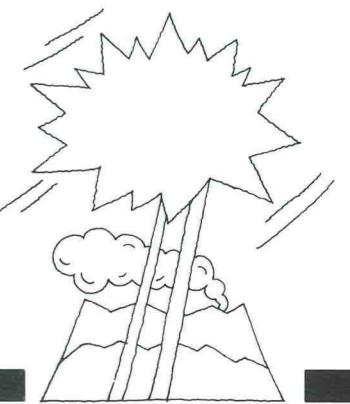
●高島さん  
は歴史的な意義ある年といえるのではと思いますが……。

高島 先ごろ、市の新年度予算が決まり、また、これから鹿児島市の進むべき道を決めた市の基本構想も発表されました。この二つを中心、これから新しい街づくり、都市づくりについてお話を伺います。

高島 先ごろ、市の新年度予算が決まり、また、これから鹿児島市の進むべき道を決めた市の基本構想も発表されました。この二つを中心、これから新しい街づくり、都市づくりについてお話を伺います。

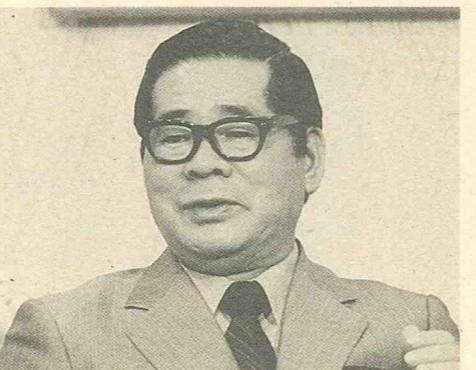
高島 先ごろ、市の新年度予算が決まり、また、これから鹿児島市の進むべき道を決めた市の基本構想も発表されました。この二つを中心、これから新しい街づくり、都市づくりについてお話を伺います。

# 市民のひろば



TV放映

「市民のひろば」は、MBCから放送されます。放送日時は、毎月第三日曜日を除く、日曜日の午前八時から十五分間。ただし、第四日曜日は三十分間放送。



高島 基本構想づくりに携わったお二人にお伺いしたいのですが。

上村 最近は生活の行動圏も非常に広がっています。そういうことで、基本構想づくりは鹿児島市のことだけを考えていってはいけない、従って、鹿児島市の役割

高島 そうですね。あの、都市の発展と人口というものは切り離せないものと思うのですが。

上村 一つの目標として、六十五年度で五十五万人という数字を設定して、それを基に、十か年の基本構想をつくっていくという進め方をいたしました。ですから、十五万人については、いろいろありますけれど、その辺を目途にした方がバランスのとれた鹿児島市づくりができると考えた訳です。

高島 大体の背景は分ったんですが、実現のためには、どのような注意を払って進めるべきか……。

上村 都市像の中で幾つかのポイントが示されました。それが基本構想の骨格の中心になつてゐるわけです。

高島 今、広域化の話が出ましたけれども、私どもの青年会議所が一年、市民アンケートをいたしま

民文化ホール」の建設に着工されたということは、極めて象徴的であつたと思います。

高島 ところで市長さん、街づくりの基本となります基本構想を発表されましたが……。

高島 市民の間でも、発想の転換といつたものが自然になされてきた年ということですね。

高島 そこで市長さん、街づくりの基本となりますが、基本構想を発表されましたが……。

高島 市長 鹿児島の将来の理想像、かくありたいというものを、今日お見えの上村先生を中心に作つていただき、答申を受けた訳です。

高島 「日本の南の起点」という都市像を実現するための基調では、これから的地方行政の問題は、文化指向だろうと——文化性豊かなまちづくり。均衡のとれた街にするためには——多核的なまちづくり。海が栄えた時には鹿児島の街も発展したことから——海を生かしたまちづくり。それに、ここまで来ますと水問題、住宅問題、どれ一つとっても、やはり広域行政、広域的な生活圏をつくつていかねばと、いうことで——広域的なまちづくりを、と四つの基調が盛られた内

高島 それが基本構想の骨格の中心になつてゐるわけです。

高島 今、広域化の話が出ましたけれども、私どもの青年会議所が一年、市民アンケートをいたしましたが、結果といふと、やはり広域行政、広域的な生活圏をつくつていかねばと、いうことで——広域的なまちづくりを、と四つの基調が盛られた内

高島 それが基本構想の骨格の中心になつてゐるわけです。

高島 今、広域化の話が出ましたけれども、私どもの青年会議所が一年、市民アンケートをいたしましたが、結果といふと、やはり広域行政、広域的な生活圏をつくつていかねばと、いうことで——広域的なまちづくりを、と四つの基調が盛られた内

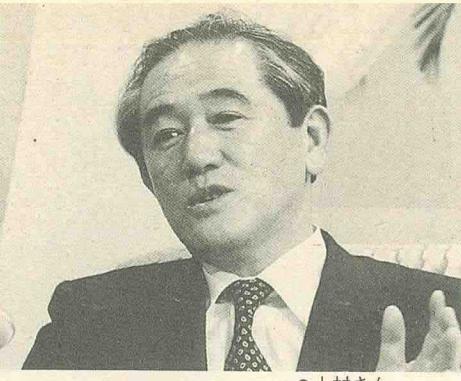
高島 これから、さらに大きな躍進へのステップの年ということですね。上村先生はどのように……。

上村 人口を含めてですね、鹿児島市は静止型ではなく、発展型といえますね。今日の低成長経済の中いろいろな努力をされて、最近の市政は市民の身近なところに美しい自然を創りあげています。

高島 グリーンストームもそうですが、美しい快適な環境を市民自ら創り出していくこうという気持が強くなつたことは、意義深いことであり、晚春の鹿児島は、すばらしいという感じです。一方、中身の問題としては、文化・芸術に親しみたいという、ゆとりをもつた市民に対して、その機会を広げてくれる「市

うことは住んでいる市民一人ひとりの心の問題だと思います。市民生活を取り巻いておりますハードな環境づくりを市は積極的に進めさせていただきたい。その際に、自然との調和を守ると同時に、自然を創り出していくという配慮をしていただきたいですね。そのことが一人ひとりの市民がゆとりのある豊かな心を持つことになるのではあります。その結果が「風格あるまちづくり」につながっています。

●上村さん

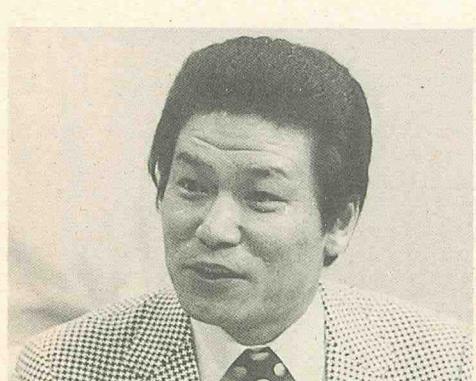


治維新の原動力となつた鹿児島、それが桜島と錦江湾、燃える鹿児島」と大変受けがいいですね。しにザビエルが鹿児島に来て、非常にはすばらしい秩序のある、モラルのある、道徳的な街があると、バチカンに報告した。それが明治維新の原動力となつた根底ではないかと考えますと、百年後に先達はいいものを残してくれたというものを、今、我々市民がつくらなかつたら、将来はないだろうと考えます。

**市民を中心にはまちづくりの輪を広げよう**

高島 そのスタートの年、昭和五十六年度の市政の取り組みを伺わせていただきたいのですが。

市長 生活環境の整備ですね。例えば道路、上下水道、側溝とかゴミ収集の問題、それに学校とか文化施設、そういうものを中心にいたしまして予算を計上しました。非常に強気の当初予算と思ひました。



●脇さん

脇 私は第一にですね、市民の各層の皆さん方がこの構想づくりに参画なさった点がよかつたと思います。実は、私どもは今年十月に開かれる全国大会のPRをやつております。非常に恵まれている

なアと感じる訳です。やはり、明るいのは国や県、近隣の市町村と心なすけれども、実施計画というののつながりがあつた強い連帯意識は大体三年ぐらいのローテーションで、実態に合つたものをつくつかります。今年は忙しい準備の年といえるのでは……。

高島 上村先生が五十六年度の市政に望むことと申しますと。

上村 厳しい厳しいと言つても、やらねばならないことは、やらなければなりません。そういう中につながつたものを作つたものであります。そういう風に考えております。

●高島



# 奥様こんにちは

モダンバレエ研究所主宰

山田みほ子さん

レッスン場狭しと、熱のこもつた指導の声が響き汗が飛びかう。バレエ教室でのすがすがしい光景。小学生の頃、余興でしばしば踊つた“おゆうぎ”をみんなが喜んでくれるのが子ども心に嬉しかった。それが踊りへの第一歩。

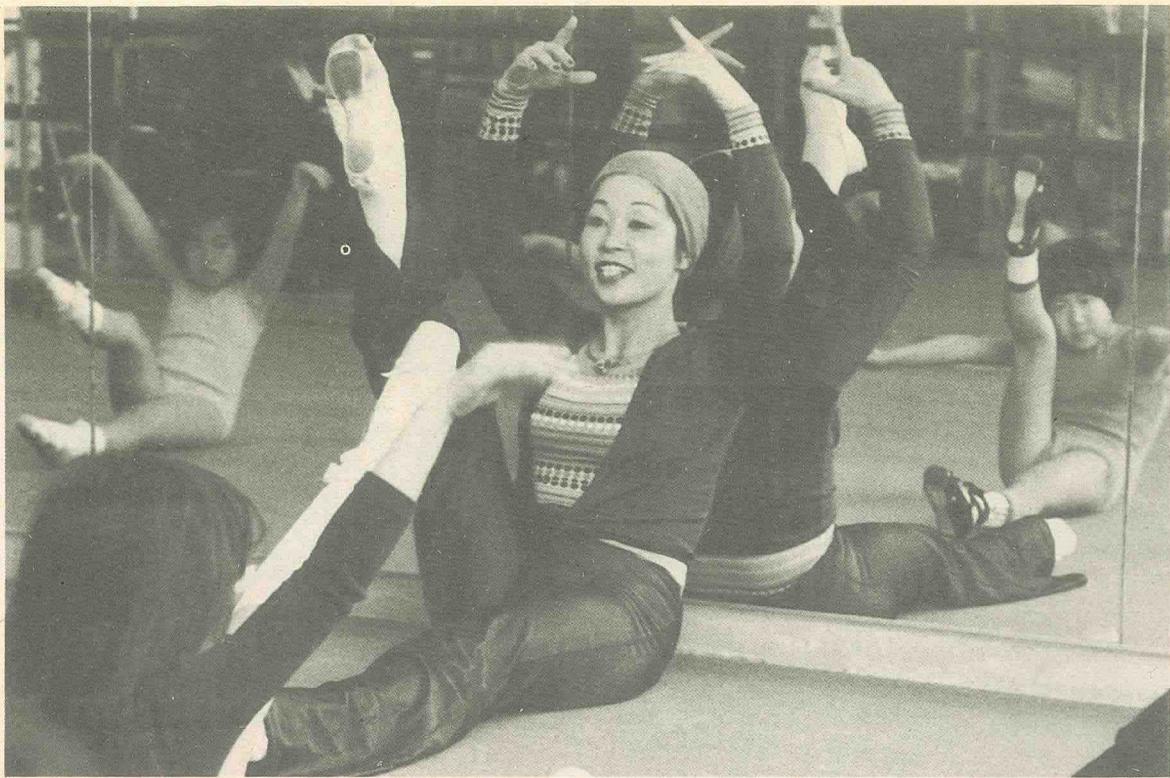
本格的にクラシックバレエを始めたのが中学一年。当時、バレエはまだ珍しく、昔氣質の父親の猛反対を、三日間のハンストの末に説得したエピソードも。念願かな

つて始めたレッスンだけに、一日も早く一人前にと精進するが、二年生の時に観た「わらび座」公演がきっかけとなり、既成のものでない自分の心と感性で踊る“モダンバレエ”に転向。現在、鹿児島のモダンバレエ界の第一人者。

家庭では、夫君隆次さんとの間には一男二女。忙しいからといって子ども達に寂しい思いはさせたくない、ふれあいの時を大切にするように心がけてきたという。手

がすぐと、一緒に台所に立つ事もしばしば。「私の手製のお菓子が大好きなんです」と目を細める。調理師の資格も持つ、かなりの腕前。他人事と無視できず、世話好きで、中途半端が嫌いとか。その事が多忙な毎日に拍車をかけている。

家庭、バレエと繁雜な日々にもかかわらず、夢あふれる世界を創造し続けるこの限りないバイタリティは、細身の体の何処に秘められているのだろう。



あなたの

# みさわ

## 梅ヶ瀬観音

進学、就職、商売、結婚などに  
靈験あらたかと言うことで、市民  
に親しまれている梅ヶ瀬観音。毎

月一日と十八日はお日と言われ、

特に参拝者が多い。深夜に訪れる  
熱心な人、早朝、出勤前の参拝者、  
休日には散歩をかねての家族連れ、  
受験シーズンには続々と受験生が

押し寄せ、大変な賑わいとなる。

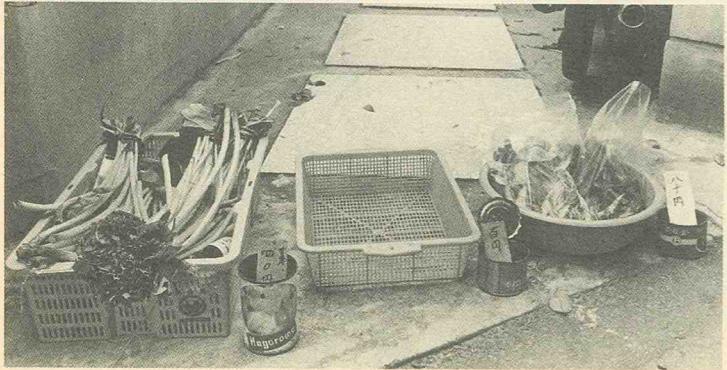
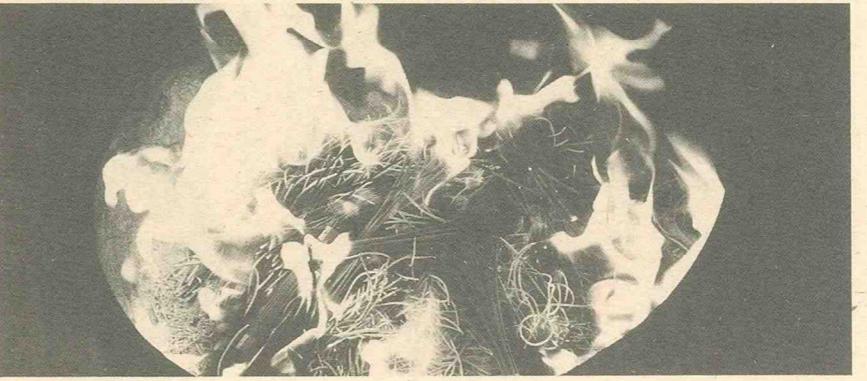
ローソクに灯を、線香に火をつ

け、各自それぞれ願いをこめ、手  
を合わせる。「今日は、お観音さあ  
がよか顔をしちよいやつどなー」と  
ふとつぶやく中年婦人、参拝して  
きっと本人の心もはれればとして  
いるのであるう。

新緑の参道脇に、野山の幸を並  
べた野菜売り場があつた。その無  
人の売り場に住人の素朴さを感じ  
た。

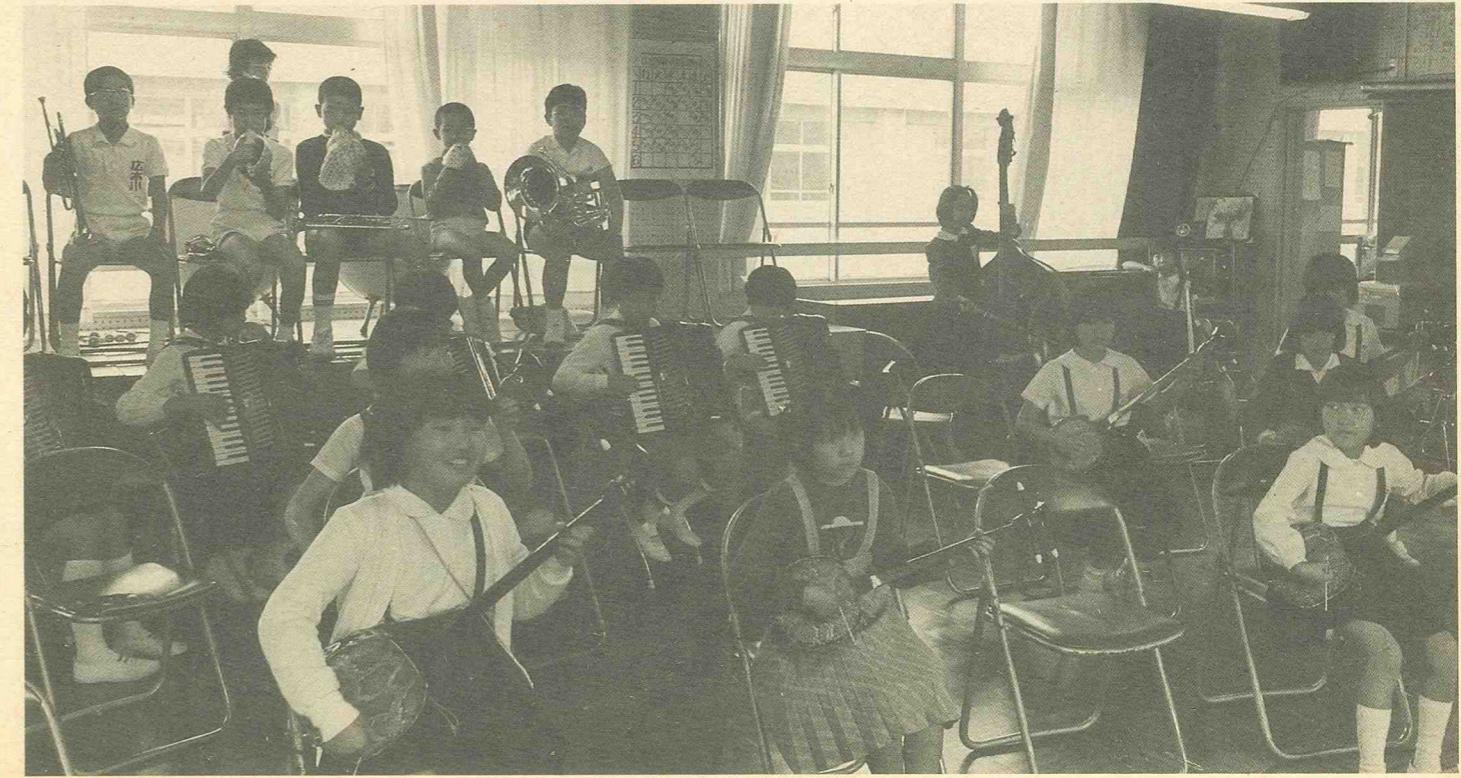
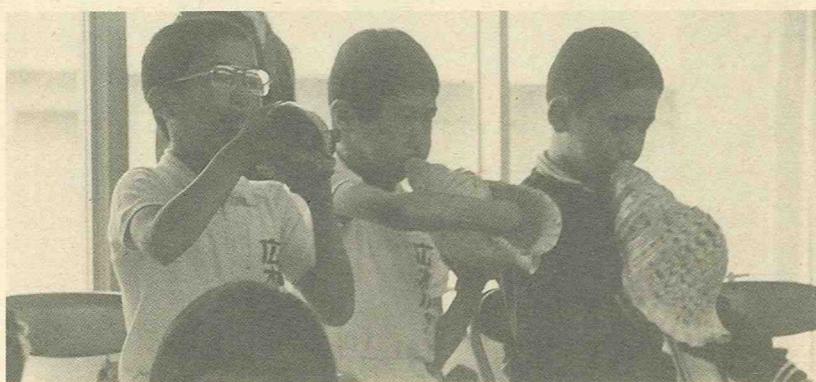
写真と文／西野 千尋

紫原五丁目7-24



あなたの

# みさわ



広木小学校に蛇皮線を中心には、奄美民謡をふんだんに取り入れた器楽部がある。

音楽担当の久野三知男先生の指導のもと、約六十名の子どもたちが蛇皮線を演奏する。

## 蛇皮線クラブ

ほとんどの子供たちは、情熱的な奄美の民謡を経験するのは初めてだつたというが、一糸乱れぬ演

奏はさすがだ。

指笛、太鼓、ほら貝などの織りまさるリズミカルなメロディに、思わず踊り出す子どももいて、その楽しさがファインダー越しに伝

わり、シャッターを押す指も軽い。心の奥底に寝入っている何かがよみがえったのだろうか。帰りの車の中、奄美民謡のメロディを口ずさんでいた。

写真と文／永田まこと

西田三丁目23-17

## 天文館通り

今もむかしも  
青春が行交う街

鹿児島文書  
楽団理事長 武田 恵喜秀

大体、東京のどこよりもきれい  
じゃないですか、天文館は。色か  
らして、街の建物の並び具合いか  
らしてですね。きれいですよ。

昔はこんなきれいじやなかつた  
ですけれど、遊ぶには楽しかった  
です。建物は木造で二階建てが多  
かつたんです。アーケードもなく、  
今は見ることもないけど、スズラ  
ン灯というのがありました。

天文館に出ることを禁じられて  
いましたからね。もう今の大学生  
とか、高校生、ま、高校生は今も  
厳しいんですけど、そんなじやなか  
つたですからね。コーヒー店に入  
つても怒られよつた。盛り場とい  
うのは魅力があつてね。年齢に関  
係なく、ぶらぶらするところです  
よ、いつの時代も。  
私の青春時代ね——。良かつた  
のは昭和三年から六年頃ですね。  
その頃がレコードが一番売れた頃

じゃないですか、クラシックとか、  
それから先はどうもねエ——。

喫茶店なんかに入つてね、クラ  
シックの程度の高いのを聞かせて  
くれると気分がいいですね。ユニ  
オンですかね、ここを行つたら左  
の降りて行くところ。若い人が沢  
山いるところです。

丸屋の横にヴィオロンという、  
感じのよい店があります。一階が  
婦人服や装飾品、二階がレストラ  
ンで、三階がホールになつていて  
ね。素晴らしいピアノがあるんで  
すよ。で、そこに行つて昼ごはんを  
食べたら上に行つてね、ピアノを  
弾いて——。いいところです。

この前ね、映画を見に行きました。  
“戦争の犬たち”。洋画は音楽  
のいいのがありますね。

パチンコにもよく行きます。気  
分転換といいますか、仕事が忙し  
かったとき、練習に疲れたときな  
んかにね。あそこの音楽——。一  
生懸命だから、耳に入らないです  
ね。疲れそうだけれど、その後が  
いいのです、一杯飲みに行けます  
から(笑い)。

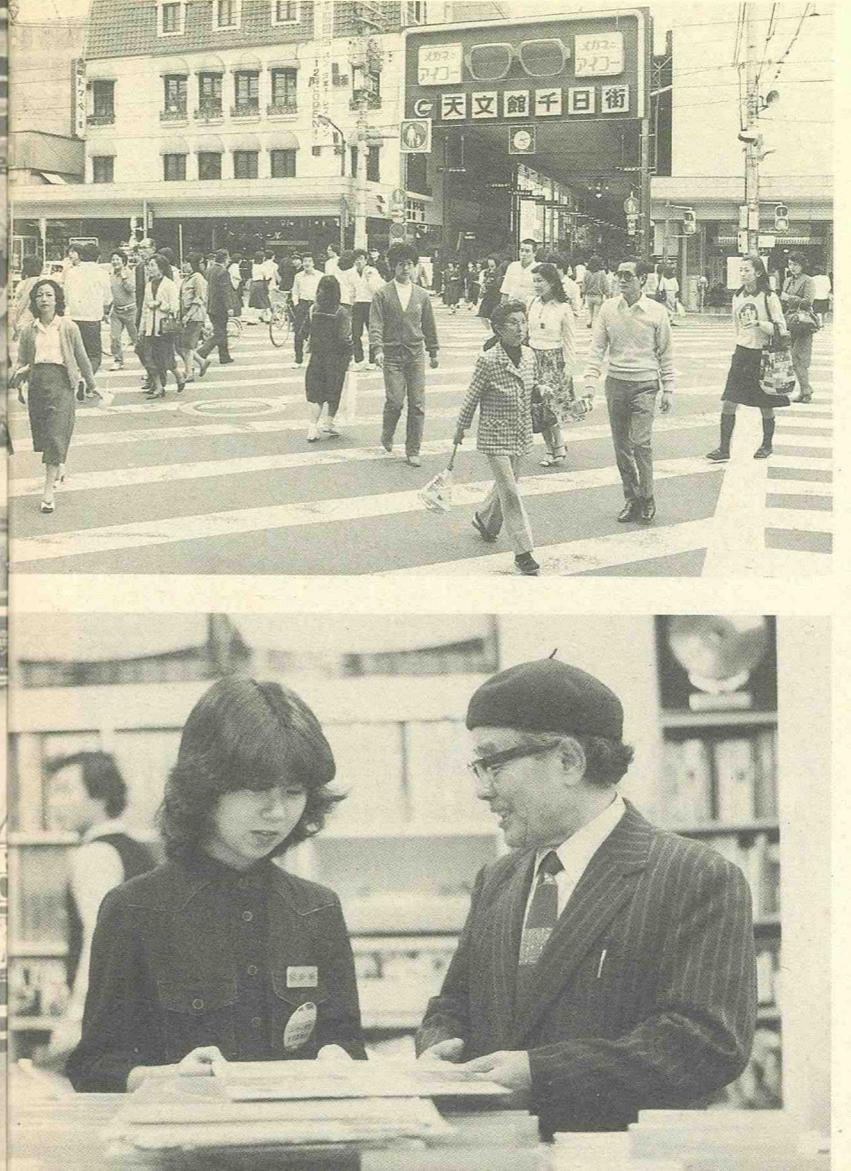
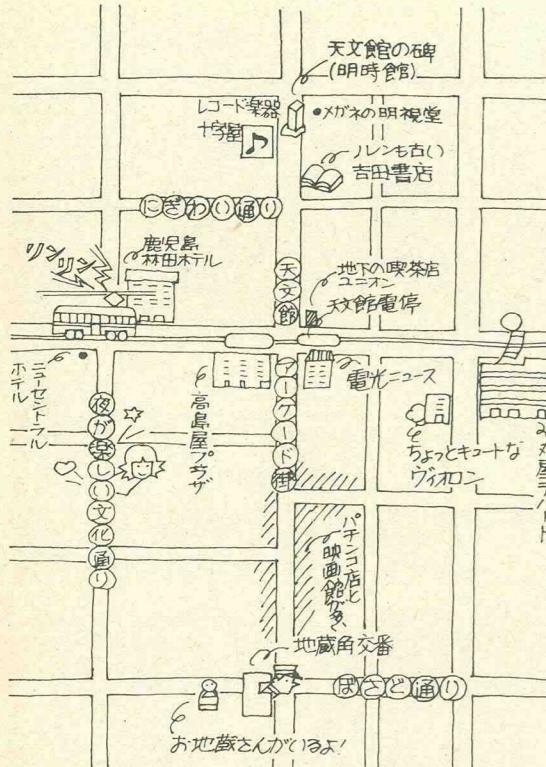
# わたしの散歩道

## ●取材メモ

元鹿児島大学教授、前鹿児島女子  
子短大教授でピアニストetc。

肩書きだけで少しこわい人かな、  
音楽家だから音にうるさいのでは  
と思ったら、「音楽は楽しいもの」と  
昔のエピソードをはにかみながら  
笑いながら話してくださいました。  
お顔の色つやも、歩く速さも話  
題までも、若々しい七十二歳。い  
つまでもお元気で。

● 取材メモ



3月27日・鶴木スミさんに長寿者祝金を贈呈

この日、102歳の誕生日を迎えた鶴木さんを酒匂収入役が訪問し、長寿者祝金を贈りました。市内の100歳以上は鶴木さんを含め3人です。



3月18日・ストッカー先生に感謝状

市内の高校や大学で16年間、英語教師を務めたストッカー先生が離日を前に鹿児島市役所を訪問しました。市では永年の功績に対し、感謝状を贈りました。



3月13日・公園清掃の女の子に感謝状

自宅近くの公園を日曜日の朝7時から8時過ぎまで、2年間も清掃し続けた田上小6年の南さん、鈴木さん、藤さんの3人に市長から感謝状が贈されました。



2月20日・流氷娘が鹿児島市役所を表敬訪問

北海道、網走市のキャラバン隊一行が鹿児島市役所を訪問しました。アザラシの皮で作った民族衣裳で着飾ったミス流氷は「ぜひ網走へ」と呼びかけていました。



2月27日・市長、ロッテナインを激励

市長は県立鴨池野球場でキャンプ中のロッテオリオンズ球団を訪問。タンカンやミカンを贈り、選手を激励しました。



3月20日・たのきんトリオが市長を表敬訪問

3人は国際障害者年に因んで、バレンタインデーにファンから贈られたダンボール30箱分のチョコレートを、市内の福祉施設にと、市長にプレゼントしました。



4月4日・薩摩辞書の碑を建立

明治の初め、薩摩の3人の青年によって作られ、英語を学ぶために広く利用された薩摩辞書。その碑が県立図書館正面前に建立されました。



4月6日・小学校の入学式

今年、小学校に入学した児童は約8,600人。中山小でも入学式が行われ、親に手をひかれた新一年生は緊張しながら受付けをしていました。

# あの店

## 金魚の松井

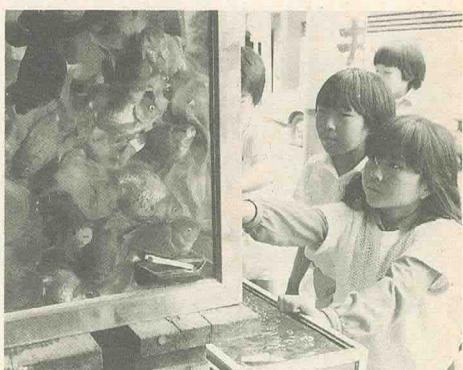
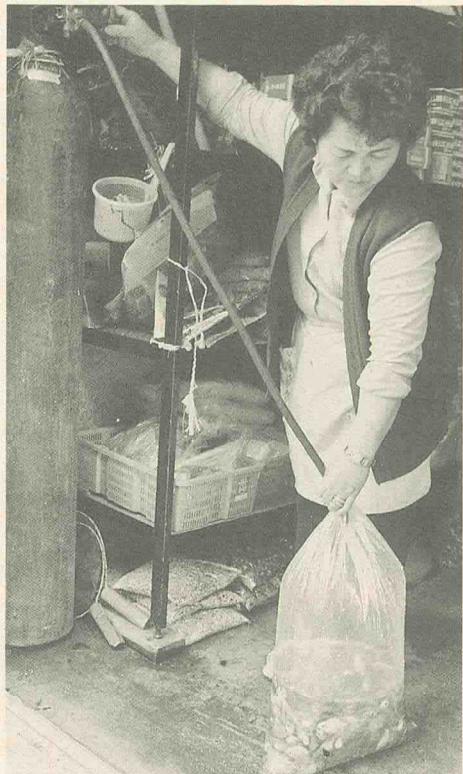
東千石町

風鈴、金魚、打ち水、暑い夏に欠かせないものである。ことに、金魚の水槽をゆつたりと泳ぐさまは涼し氣で心地よい。

金魚と言えば、六月灯で弟といつしょに金魚すくいに夢中になつた幼い頃が思い出される。

創業四十年のこの店、らんちゅう、獅子頭、和ぎんなど、十五種類あまりの金魚を売っている。店主は、あのなつかしい売り声とともに市内を流したこともあるという。

「何度も金魚を死なせたことがあつて」と悲しい経験を話すと、「金魚は強い魚なんですがねエ」といながら、金魚の飼い方を丁寧に教えてくれたご主人のやさしさが印象に残った。



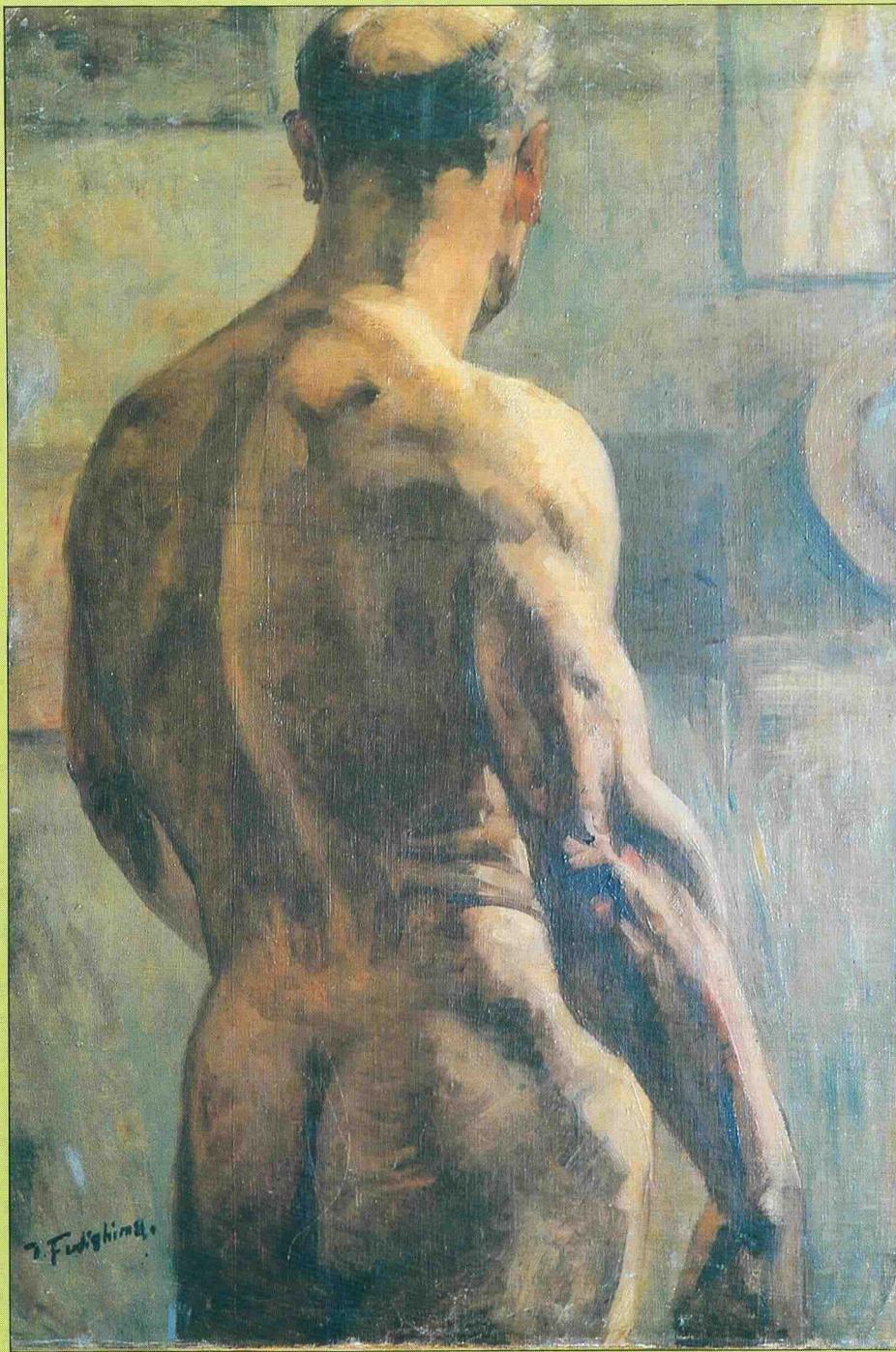
▼この号より誌面を四ページ増やし、新たに特集として、「飛んで二十年」を企画しました。二十年前とは打って変わったまちの姿を、空から紹介してまいります。

▼六月は梅の実の熟するシーズン。そこで、昔の人はこの時期の雨を「梅雨」と表現した。これをいま訓で「つゆ」と読むのは熟するの古語「つはる」からきているという。梅の実と降り続く雨。先の予報では、今年の梅雨入りは平年よりやや早く「暴れ梅雨」のおそれもあるという。「備えあれば憂いなし」、雨期を控えて今一度、家の周りを点検し、災害に備えよう。

▼「市民フォト鹿児島」第5号をお届けします。

▼早いもので、フォトも世にでて一年になりました。これからも、本市のめざす「風格と活力ある市民都市」実現の媒体として役だってくれることを期待し、精いっぱいがんばります。

編集後記



## 市立美術館

### 裸体習作

(油彩M二十五号)

藤島武二  
(明治三十九年滞欧作)

鹿児島市池之上町六十二番地に生  
まる。始め日本画を学び、後に洋  
画を画く。明治三十八年欧洲留学、  
フランスでフェルナン・コルモンに、

イタリアでカロリス・デュランに師事  
明治四十三年帰国して東京美術學  
校教授、昭和十二年文化勲章受賞  
昭和十八年(一九四三年)、七十七  
歳で没する。

主幹 坂下弘至

イタリアでカロリス・デュランに師事  
明治四十三年帰国して東京美術學  
校教授、昭和十二年文化勲章受賞  
昭和十八年(一九四三年)、七十七  
歳で没する。

解説 明治三十年代中期に「天

平の面影」、「蝶」等で独自の浪漫的  
な画風を確立した藤島武二は、画  
道をより深く究めるため、ヨーロ  
ッパに遊学した。

「裸体習作」はこの遊学二年目、  
パリのグランド・ショーミエールの  
研究所でフェルナン・コルモンに師  
事していた頃の作品である。藤島  
武二はコルモンについて「裝飾風の  
絵は余り長所ではない」「然るにコ  
ルモン先生に就いたのは、全く異  
つた側を知りたい」という考え方で  
と述べている。この作品にみられ  
る研究的な態度は画家藤島の画道  
への厳しい精神を示すものであり、  
自信に溢れた筆触は二年後の名品  
「黒扇」(重文)に結実し、数々の秀  
作に連なる。

鹿児島に美術館ができたらこの  
作品を、という画伯の遺志がもた  
らした貴重な一点であり、俺を超  
えろ、という郷土への遺言でもある。



電車・バスを利用して  
今日も省エネネルギー



## 非行防止は対話のある家庭づくりから 夏の青少年を育てる運動——7月1日～8月31日

非行は親の無関心から



シンナーの恐ろしさを知ろう



非行の芽は寂しさからも… 子どもとも遊びましょう



麻薬・覚せい剤から若者を守りましょう